

## 第27期第15回常任理事会議事録

日時：1994年4月26日 14時00分～17時30分

場所：気象庁内日本気象学会事務室

出席者：浅井，竹内，岩崎，大西，小倉，木田，関口，  
中村，新田，藤谷，松野，村上 以上12名

### 議事

#### 1. 第27期第14回常任理事会議事録の確認

一部修正のうえ承認。

#### 2. 各委員会からの報告及び審議

庶務…後援名義等使用許可1件（第11回エアロゾル科学・技術研究討論会，大阪府豊中市，1994年8月）

- 1993年度監査を4月18日に実施。監査結果を報告。
- 第16期日本学術会議会員選出に関わる地球物理研究連絡会の推薦人会議が5月20日に開催される。定数2に対し候補者9である。

会計…1993年度の収支決算を報告。会費収入は会員数の若干の伸びを反映して微増。研究ノートの収支はページ数，冊数の関係でどちらも予定より少ない。気象集誌への文部省補助は40万円アップ。国際学術交流は予算の70%程の実行。TRMMの受託研費は一部を次年度に繰り越す。TRMM分を除く収支では，450万円程度の黒字で，これまでの累積赤字と見合う額。

天気…4月号の内容及び5，6，7月号の予定を報告。

気象集誌…1994年3号の内容を報告。今号から総合印刷が担当。

- Elsevier社に集誌の印刷等を委託する件について，編集委員会から，「Elsevier側の条件では団体会員，特別会員の負担が大幅に増加する。外国での販売網が充実するメリットを考慮してもマイナスが大きい」との報告。常任理事会として議論した結果，団体・特別会員のデメリットを極力小さくすることが可能かどうか Elsevier と編集委員会が再協議し，現在の条件が改善されない場合にはこの件は断念することに決定。

国際学術交流…6名の補助申請に対し，4名を承認。福岡の秋季大会シンポへの外国からの

参加者に対する補助は4名。

- 交流基金の運用規定を改正したい。補助の対象を現行規定よりゆるめる方向。常任理事会として議論した結果，大枠を了承。規定の改廃手続きについて「日本気象学会の承認」とあるのは「理事会の承認」を意味すると解釈し，5月の理事会に改正案を提案する。この際に「改正は理事会承認」を明記。

総合計画…4月19日に地球惑星関連学会連絡会があり，磯部会員が出席。3月の合同大会が成功したことなどの報告があった。連絡会を連合体に移行する件を引き続き検討するとの方針も報告された。

パソコン通信…3月の着信件数280件。

- Sprint Japan社からの申し入れにしたがい，同社の国際データ通信サービスの内容を学会のBBSで紹介する。代理店契約までは行わない。

#### 3. 会員の新規加入等について

個人21名，団体1の入会を承認。個人2名，団体4，賛助会員1の退会を報告。

#### 4. 第28期役員候補者の追加推薦について

第28期理事候補者第2回会議を4月18日に開催。

19名中11名出席。2名が書面参加。3名の地区選出理事候補者の当選辞退の補充について議論。それぞれの所属支部からの推薦者である窪田将（札幌管区气象台，北海道支部），森俊雄（名古屋地方气象台，中部支部），佐野昭（大阪管区气象台，関西支部）の各会員を理事候補者として適当と認め，総会に追加推薦することを決定した。

定款等の規定により，もう1名の理事候補を推薦できることから，候補者について討議。その結果，木田秀次会員（京都大学）も追加推薦することを決定。

#### 5. 1994年度総会議題について

- (1) 1993年度事業報告・常任理事会で出された修正意見等を入れて事務局と庶務担当理事が修正する。
- (2) 1993年度会計決算報告・・・了承。
- (3) 1993年度監査報告・・・了承
- (4) 定款の一部改正案・・・『天気』に掲載した趣旨説

明を一部修正のうえ総会提案とする。

- (5) 第28期役員選任・・・庶務担当理事が総会資料として準備。
  - (6) 1994年度事業計画案・・・事務局と庶務担当理事が各担当理事の意向にしたがって調整する。
  - (7) 1994年度予算案・・・集誌 TOGA 特別号には文部省補助金100万円が見込まれる。今年度から中部支部の夏期大学が始められ、これに対して10万円の補助を支出する。全体として郵便料金の値上げを集誌の印刷単価の減少が吸収することになり、年度では収支ほぼ均衡。この予算案を了承した。
6. 日本物理学会等の「理科教育の再生を訴える」声明について  
日本物理学会、応用物理学会、日本物理教育学会の連名で出された標記の声明が気象学会に送付され

てきた。気象学会としても興味のあることなので、とりあえず学会 BBS に掲示する。この声明を引用するかたちで『天気』の「気象談話室」で取り上げてはどうかとの意見が出され、教育と普及の委員会から適当な人に執筆を依頼することにする。

#### 7. 千葉大学環境リモートセンシング研究センター設立に関して

標記センターの設立に関して、千葉大学の竹内会員から気象学会理事長に対し、気象学会からのサポートの依頼があった。常任理事会としてこの件について議論した結果、既存の他大学や国立の研究センターの研究テーマとの関連についてももう少し明確にすること、また、気象学会が何らかのサポートを行うとして、最も適当な方法等についてももう少し詰めることにし、浅井理事長に一任。

## 日本気象学会夏期特別セミナー（第5回夏の学校）開催のお知らせ

日本気象学会夏期特別セミナー（夏の学校）は、若手研究者どうしの、研究に関する議論と情報交換の場、また親睦と交流を深める場として恒例のものとなりました。第5回目となる今回は、名古屋大学が主管となって実行委員会を組織し、準備をすすめています。例年より遅くなりましたが、このたびようやくその内容が決定しましたのでご報告します。今年は、初めての試みとして週末を含む3日間の開催とし、また、招待講演を下記のお二人の先生にお願いしました。このほか、参加者有志による一般講演も例年通り予定していますので、積極的なご参加をお待ちしています。申込みの方法その他、詳細は既にお手元に郵送しておりますので、そちらを参考にしてください。また、参加をご希望で案内がまだ届いていない方は、下記連絡先まで至急ご一報ください。なお、参加申込みの一次締切は6月24日（金）と致します。

期 日 1994年7月30日（土）午後～8月1日（月）  
午前

場 所 河口湖サン・コート

〒401-04 山梨県南都留郡河口湖畔勝山村  
1106-2

Tel 0555-83-2839 Fax 0555-83-2730

富士急行・河口湖駅より バス10分

東海道新幹線・新富士駅よりバス90分

東京・名古屋から直通バス有り

招待講演 岩坂泰信

（名古屋大学・太陽地球環境研究所）

「地球環境—マイクロにみてマクロを理解する—」（7月31日午前）

内藤勲夫（国立天文台・水沢観測センター）

「大気水圏地球系の角運動量収支」

（8月1日午前）

連絡先 〒464-01 名古屋市千種区不老町

名古屋大学大気水圏科学研究所

日本気象学会若手会・第5回「夏の学校」

実行委員会

代 表 皆已幸也

事務局 森 昌彦

Tel 052-789-3495 Fax 052-789-3436(事務局)